

ビールサーバー取扱い要領

1. 適した場所への設置

- ① 発熱源から離し、直射日光の当たらない場所へ設置してください。
- ② 平らな場所を選び、水平に設置してください。

2. アイスボックス内に氷をいれる

- ① アイスボックスがいっぱいになるくらい氷を入れてください（約3キロ）。
- ② 開始5～10分程度前に氷を入れると冷却されたビールが注出できます。
- ③ 開始まで長い時間（20～30分）氷を入れたまま放置すると、凍結して注出できない場合があります。

3. ミニ減圧弁にミニポンベを取り付ける

減圧弁にミニポンベをねじ込み、止まるまでしっかりと締め付けてください



右がミニポンベ、左がミニ減圧弁

4. ヘッドを生ビール樽にとりつける

- ① 樽のフィッティングの凸部にヘッドの切り欠きを合わせてください。



※左図はアサヒ他のヘッド、右図はキリンのみのヘッド

- ② ヘッドをフィッティング部に押し込みながら右に止まるまで回します。



5. 減圧弁を調整

調整ハンドルを回し、ガス圧のメモリを2~2.5にあわせます。



6. サバーのコックが閉じているか確認の上、ヘッドのレバーハンドルを下へおろし、ビールを通してください。



※ビールを通していない状態

※ビールを通してしている状態

7. コックよりビールを注出



停止状態



手前に倒すとビールがでる



奥に押しと泡がでる

使用上の注意

1. 開始直後にコックより抽出されたビールはコップ半分くらいすてる

サーバーを洗浄してあるため、若干の水がでます。また開始直後は泡抜きが必要になります。最初にコックより抽出されるのは、泡と水ですのでコップ半分くらいは捨ててください。

2. ヘッドを生タルより取り外す際

ヘッドを生タルより取り外す時は、必ずヘッドのハンドル部を上げ(ハンドルの黒い部位を手前に引くと上にあがります)、ビールを通していない状態にしてください。また、減圧弁のメモリを0にしてください。

3. 泡が多くなってきた場合

- ① アイスボックス内の氷を確認してください。少なくなっている場合は氷を足してください。
- ② 調整ハンドルのメモリを2.5に上げてください。まだ泡が多い場合は、ミニボンベを交換してください。通常ミニボンベ一本で10～15Lの生タルに対応できます。